

平成29年4月17日

筑波大学海外留学支援事業（はばたけ！筑大生）

平成29年度キャンパス イン キャンパス（C i C）等支援プログラム募集要項
（平成29年4月期募集）

筑波大学（以下「本学」という。）とキャンパス イン キャンパス（C i C）対応大学（重点指定校）及びダブルディグリープログラム、ジョイントディグリープログラム等（DDP等）を実施する海外の大学との間で締結された覚書に基づき、海外の大学で学修、調査・研究を行う予定の本学の学生で、キャンパス イン キャンパス（C i C）等支援プログラムによる支援金（以下「支援金」という。）の受給を希望する者（以下「支援学生」という。）がいる場合は、下記により申請してください。

記

1 応募資格及び条件

応募資格は、平成29年4月1日現在、本学の学群又は大学院の正規課程に在籍する者（休学中の者及びダブルディグリープログラム、ジョイントディグリープログラム等（DDP等）を実施する海外の大学との覚書により本学の学生となる者を除く。）とし、次の事項に該当する者としてします。

○キャンパス イン キャンパス（C i C）対応大学（重点指定校）との覚書を締結して、学生の派遣を行う教育組織の長から推薦される者。

なお、キャンパス イン キャンパス（C i C）対応大学（重点指定校）に置く本学海外拠点オフィスの運営管理者（以下「C i C責任者」※という。）から、当該学生がC i C制度に基づき学修、調査・研究を行う予定の学生であることの確認を得たうえで申請してください。

（注）※C i C責任者

国立台湾大学：^{おおいわりょうすけ}大庭良介准教授（台湾オフィス）

ボルドー大学：^{きじまじょうじ}木島譲次特命教授（ボルドーオフィス）

カリフォルニア大学アーバイン校：^{ひろせただけし}廣瀬武志教授（アーバインオフィス）

サンパウロ大学：^{おおねだ おきむ}大根田 修教授（サンパウロオフィス）

マレーシア工科大学：^{つじむらまき}辻村真貴教授（クアラルンプールオフィス）

（注記）カリフォルニア大学アーバイン校については、同校と交流スキームを持っている教育組織の大学院生に限定します。

○ダブルディグリープログラム、ジョイントディグリープログラム（DDP等）を実施する海外の大学との覚書を締結して、学生の派遣を行う教育組織の長から推薦される者。

2 対象期間

原則として、平成29年7月1日以降に出発し、平成30年3月31日までに帰国することとします。なお、キャンパス イン キャンパス（C i C）対応大学（重点指定校）及びダブルディグリープログラム、ジョイントディグリープログラム（DDP等）を実施する海外の大学との間で締結された覚書に、年度を超えた期間の記載がある場合は、翌年度に跨った

期間での申請を可とします。

3 採用人数

平成29年4月期募集は30回（人）程度の採用を予定しています。

4 支援金の支給内容

支援金は、採択された用務に対して旅費の一部として上限15万円とし、地域指定額（東アジア5万円、東南アジア・南アジア・中央アジア・大洋州10万円、その他15万円）を、原則として、支援学生がキャンパス イン キャンパス（C i C）対応大学（重点指定校）及びダブルディグリープログラム、ジョイントディグリープログラム（DDP等）を実施する海外の大学へ渡航する前に支給し、帰国後に精算を行います。

なお、採択された留学期間が翌年度に跨る場合は、往路旅費分（支援金）は当該年度予算から、復路旅費分（支援金）は翌年度予算から支給することとし、支援金額は、それぞれ地域指定額の2分の1とします。

また、筑波大学海外留学支援事業（はばたけ！筑大生）からの支援金のほかに、本渡航に係る支援金（奨学金を含む。）を申請している場合は、その旨申し出てください。

（注意）「筑波大学海外留学支援事業（はばたけ！筑大生）」からの支援金をもって海外留学を実施する場合、他の経費との併給は原則としてできません。ただし、指導教員等が本事業実施のために不足分を補填することを認めた場合は、学内の教育研究費（運営費交付金）、又は使用可能な外部資金を旅費として合算使用することは妨げません。（外部資金を使用する場合は、使用目的等を十分に確認してください。）

なお、「筑波大学海外留学支援事業（はばたけ！筑大生）」により支援される海外留学に、さらに学内外の奨学金制度から奨学金、助成金などが支給される場合は、本事業の採択の辞退若しくは採択を取り消すものとします。

さらに、採択後に辞退することとなった場合は、支給した支援金の全額を返納してください。

5 出願に必要な書類

学生の派遣を行う教育組織の長は、次の書類を提出してください。

- (1) キャンパス イン キャンパス（C i C）等支援プログラム申請書（様式1）
（推薦候補者ごとに作成）
- (2) 海外の大学との間で締結された覚書（写し）

6 出願書類提出期限及び提出先

学生の派遣を行う教育組織の長は、出願書類を平成29年5月26日（金）17時までに支援学生の所属する教育組織対応のエリア支援室、社会人大学院等支援室又はグローバル教育院へ提出してください。

7 選考及び決定

学生を担当する副学長は、グローバル・コモンズ機構国際交流支援部門企画・審査委員会が行う書類審査の結果により選考を行い、採否については、学長が決定後、学生の派遣を行

う教育組織の長に通知します。

なお、採択後に、採択された申請と異なる内容に変更することなどの場合は、決定を取り消すことがあります。

8 その他

(1) 出願書類の様式は、専用ウェブサイトからダウンロードが可能です。

(URL <http://www.tsukuba.ac.jp/global/scholarship.html>)

(2) 支援学生は、学生の派遣を行う教育組織の長の確認を得て帰国後2週間以内にキャンパスインキャンパス(CiC)等支援プログラム報告書(様式2)を提出してください。

(3) 海外渡航の際には、「海外渡航届」を必ず提出してください。なお、「海外渡航届」の提出がない場合は、支援金の支給を保留することがあります。

(4) 海外危機管理のうえから外務省安全ホームページにより渡航国の情勢について安全確認を行い、海外旅行登録「旅レジ」に登録又は「在留届」を提出するとともに、必ず海外旅行保険に加入し、海外安全危機管理サービスOSSMAに加入してください。

9 本件に関する問合せ先

学生部学生交流課 (海外留学)

電話 029-853-6067

電子メール isc-kaigai@un.tsukuba.ac.jp